

2023年8月8日

各 位

上場会社名 株式会社フルヤ金属
代表者名 代表取締役社長 古屋 堯民
(コード番号 7826)
問合せ先責任者 取締役管理本部長 榊田 裕之
電話番号 03(5977)3377

中期経営計画の概要に関するお知らせ

当社は、2024年6月期から2026年6月期を対象とした中期経営計画の概要について、本日開催の取締役会にて別紙のとおり決議したので、お知らせいたします。

以 上



中期経営計画2026

(2024/6期～2026/6期)

2023年8月8日

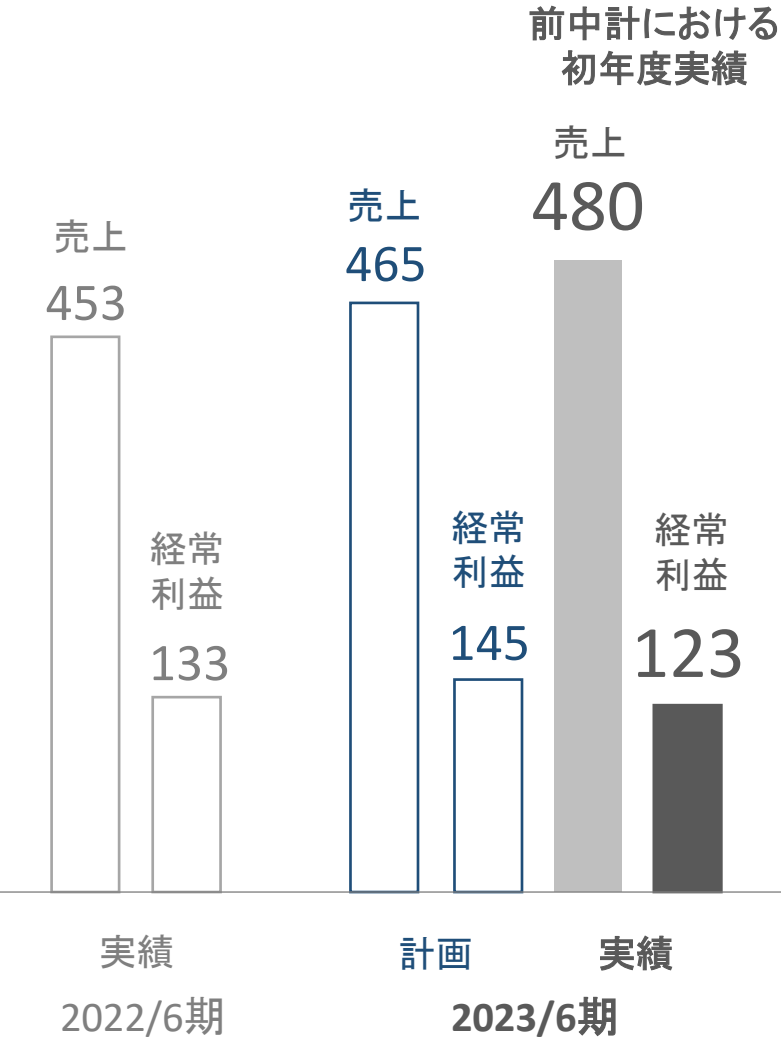
株式会社フルヤ金属

1 前中期経営計画の初年度(2023/6期)振り返り

2 中期経営計画2026(2024/6期-2026/6期)

前中計初年度(2023/6期)振り返り①業績

売上及び経常利益 (億円)



環境変化

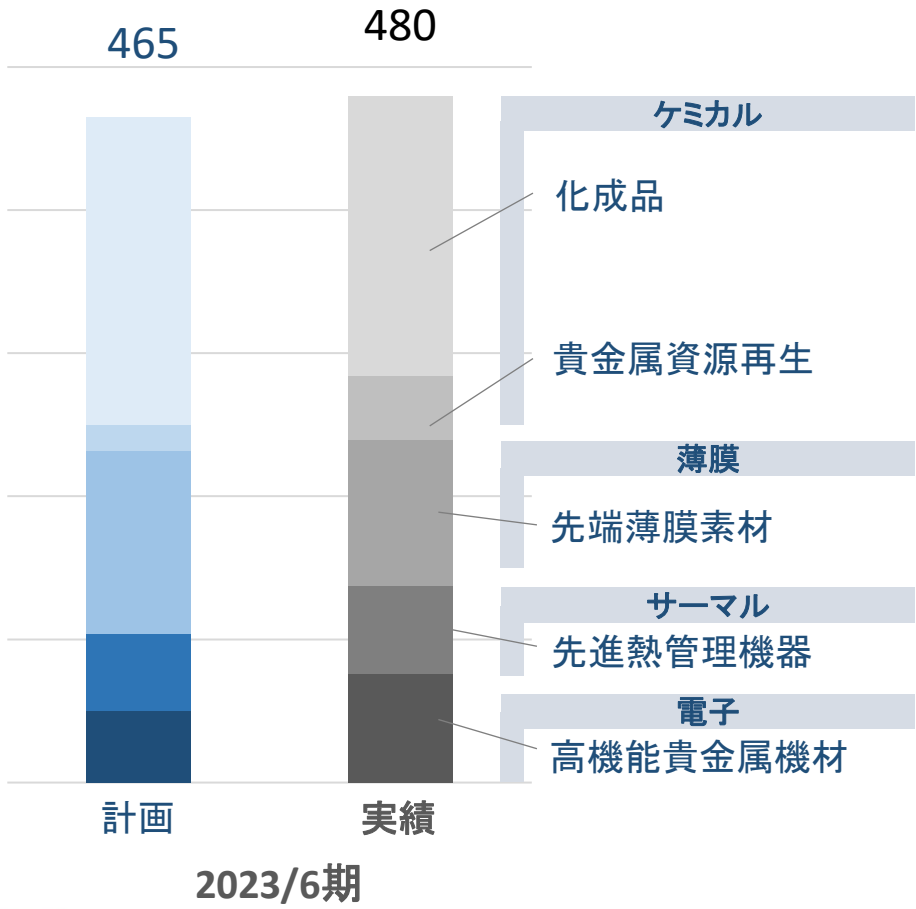
- (-) HDD向けターゲットの在庫調整
- (-) 貴金属価格の低下
- (+) 為替変動 急速な円安への進行



前中計初年度(2023/6期)振り返り①業績

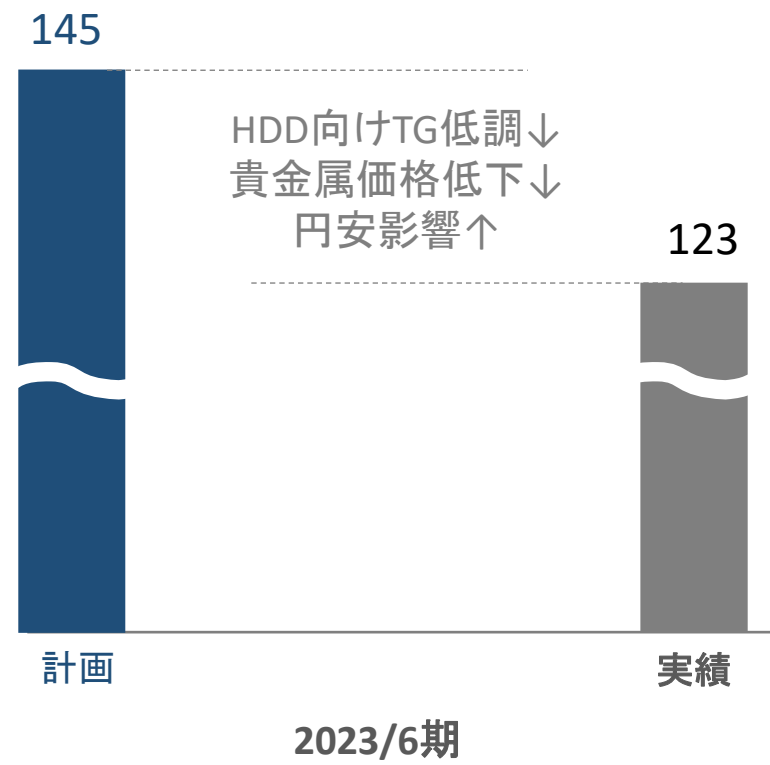
セグメント売上高 (億円)

売上目標は達成



経常利益 (億円)

減少要因: HDD向けTG低調, 貴金属価格低下
 増加要因: 円安基調



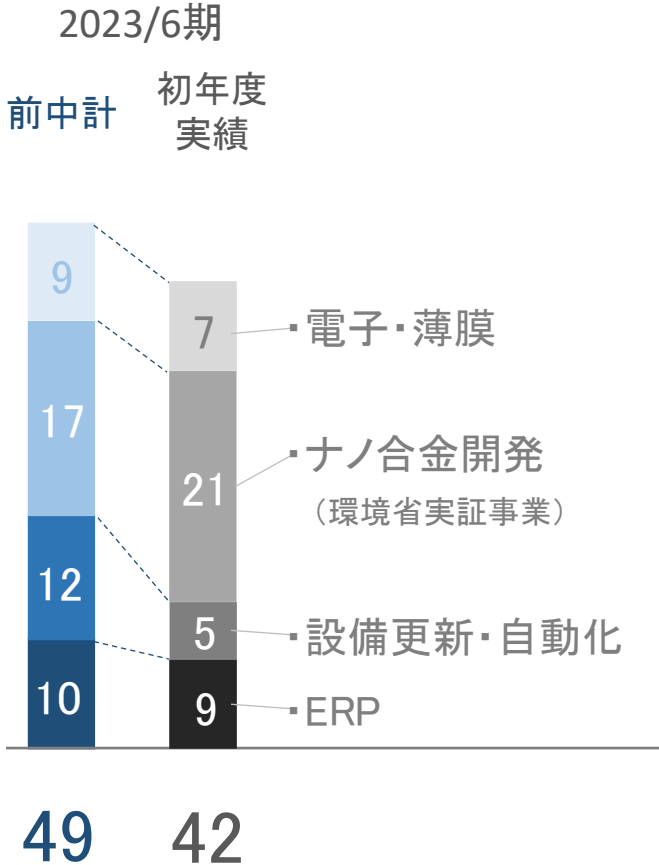
前中計初年度(2023/6期)振り返り②投資, B/Sマネジメント

投資・研究開発 (億円)

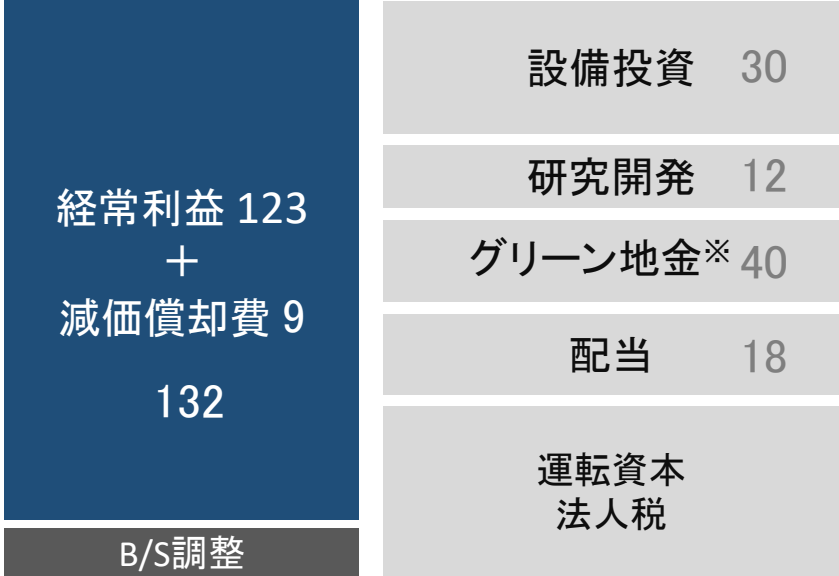
デジタル・グリーン^①の製品関連投資はほぼ予定通りに投資が進行

B/Sマネジメント (億円)

得られた利益は新製品向け投資、グリーン地金、配当へバランスを考慮し運用



2023/6期 初年度実績



※デジタル・グリーン向け貴金属原材料

1 前中期経営計画の初年度(2023/6期)振り返り

2 中期経営計画2026(2024/6期-2026/6期)

3年後の目指す姿

足元の半導体業界の調整局面や景気後退を経た後、中長期的なデジタル社会の進展、グリーン社会への転換の機会を捉え、着実に成長する

売上

860

前中計における
初年度実績

739

680

536

591

465

480

前中計実績 前中計 中計 前中計 中計 中計
2023/6期 2024/6期 2025/6期 2026/6期

経常利益

164

前中計における
初年度実績

160

155

110

150

123

145

前中計実績 前中計 中計 前中計 中計 中計
2023/6期 2024/6期 2025/6期 2026/6期

経営ビジョン

グローバル展開するお客様と共に、
独自技術でイノベーションを創出し、
つねに次世代の産業ニーズを捉え、
グローバルな課題を解決する

グリーン社会の
実現に向けて

デジタル社会の
さらなる進展に
向けて

高機能
貴金属機材

先進
熱管理機器

先端
薄膜素材

貴金属
資源再生

化成品

3年目(2023/6期)

第一ステージ

第二ステージ

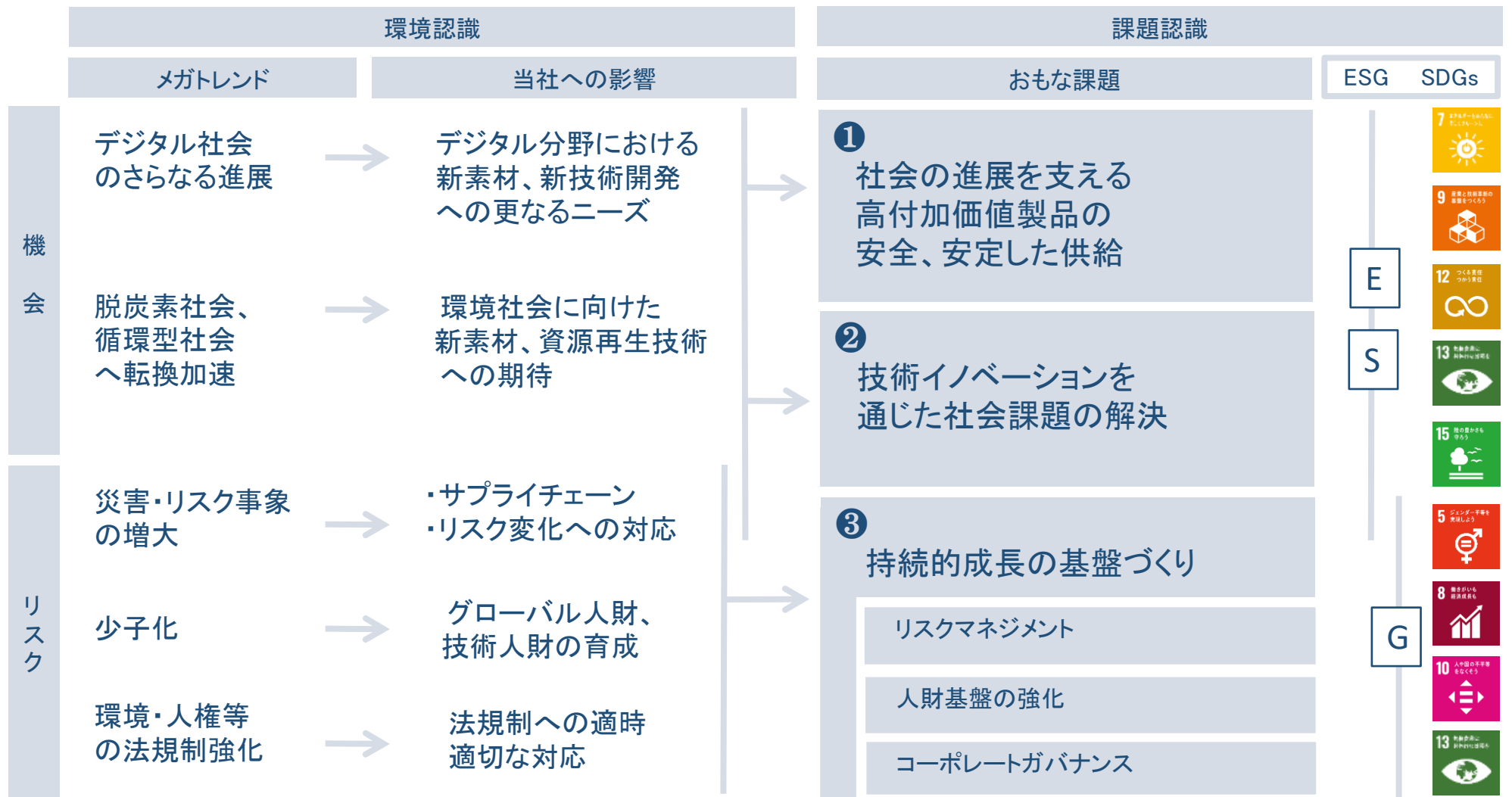
第三ステージ

2020 経済産業省 グローバルニッチトップ企業に選定

2014 経済産業省 グローバルニッチトップ企業に選定

環境認識と課題

社会変革期に持続的に貢献すべく“高付加価値製品の安定供給”“技術イノベーション”“成長を支える基盤づくり”に取り組む



基本戦略

社会課題をとらえた価値創造と持続可能な社会への転換を加速するため、独自の付加価値創造モデルに磨きをかけ、更なる進化を図る

— 課題 —

① 高付加価値製品の安全、安定供給

② 技術イノベーションを通じた課題解決

③ 持続的成長の基盤づくり

— 基本戦略 —

5本柱の進化

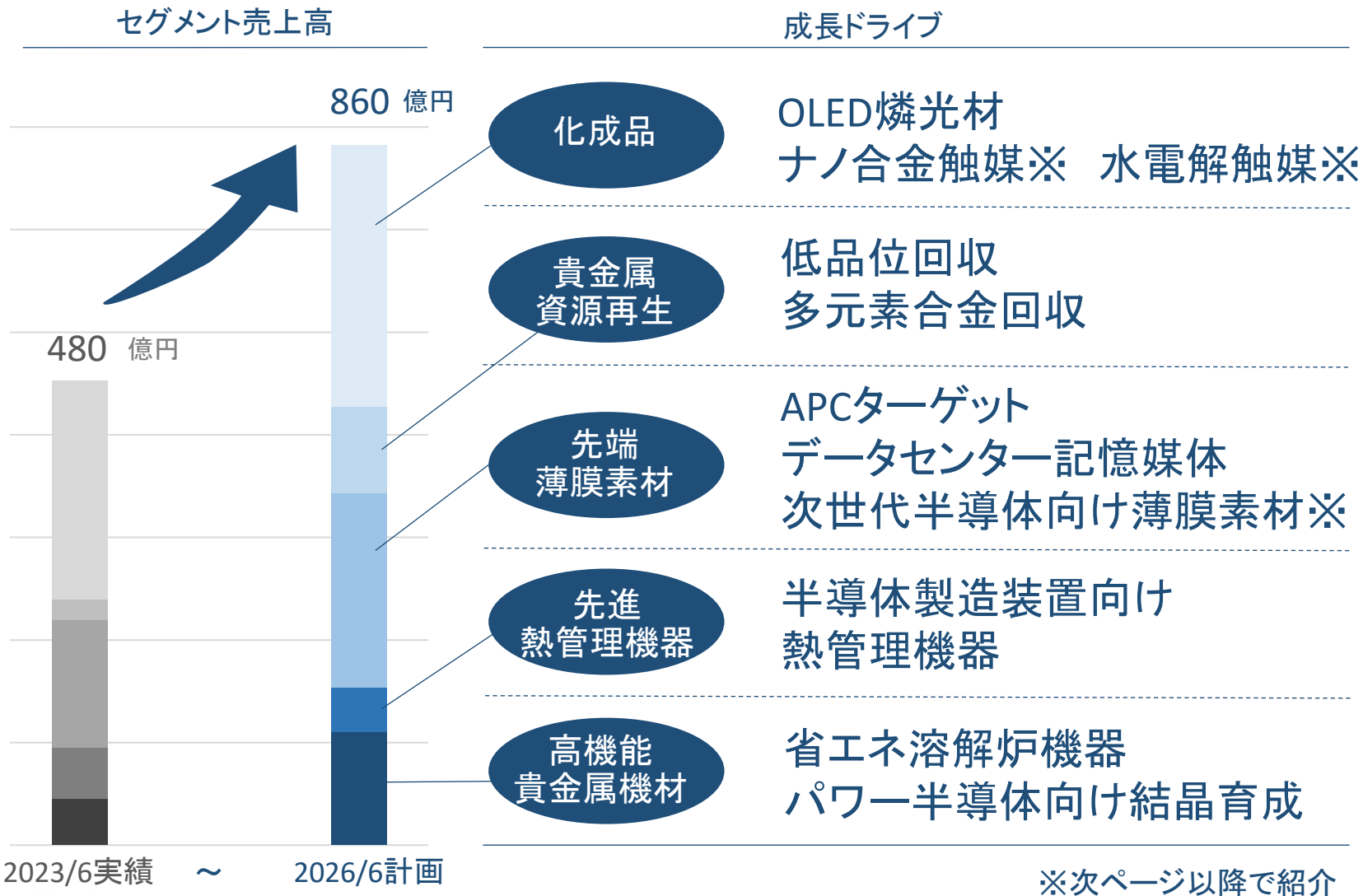
ものづくり成長投資

持続的成長の基盤



5本柱の進化

デジタル社会の進展、グリーン社会の転換をとらえ5本柱をさらに進化



ケミカル
薄膜
サーマル
電子

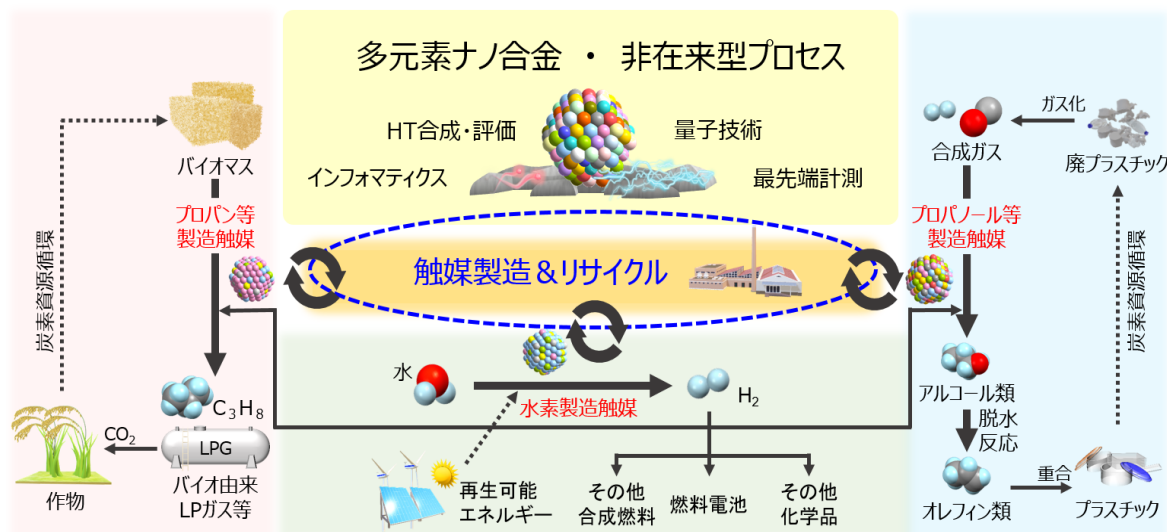
グリーン社会の実現 / デジタル社会の進展

※次ページ以降で紹介



成長ドライブ① ナノ合金触媒開発

環境省の「令和4年度地域資源循環を通じた脱炭素化に向けた革新的触媒技術の開発・実証事業」において、当社は水電解触媒及び排ガス浄化触媒向けの多元素ナノ合金触媒の開発に取り組んでいます。



研究建屋



ナノ合金製造装置



各種分析装置



出所: 令和4年度環境省委託事業 地域資源循環を通じた脱炭素化に向けた革新的触媒技術の開発・実証事業
革新的多元素ナノ合金触媒・反応場活用による省エネ地域資源循環を実現する技術開発
(省希少金属と高性能を両立するPEM水電解触媒の開発成果報告書)

成長ドライブ② 水電解触媒向けターゲット

世界的にグリーン水素製造の実用化が図られる中、水電解装置の大型化・量産化が求められています。当社では高品質なイリジウム及びルテニウムターゲットを提供し、水電解性能の向上に貢献しています。

水電解技術

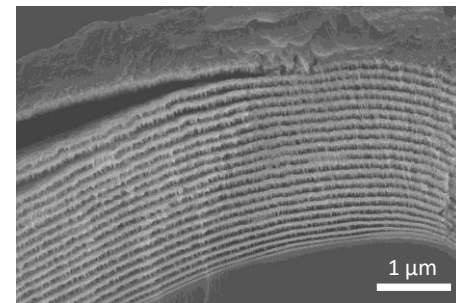
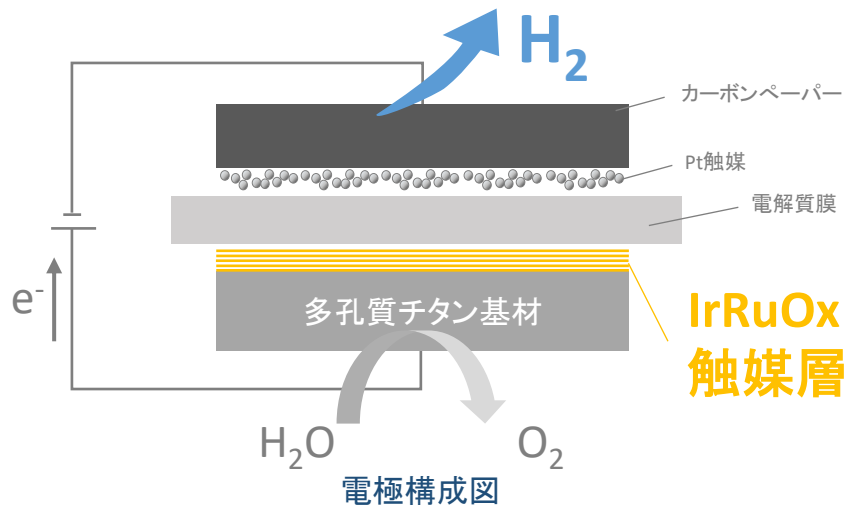
アルカリ水電解

固体高分子水電解 (PEM)

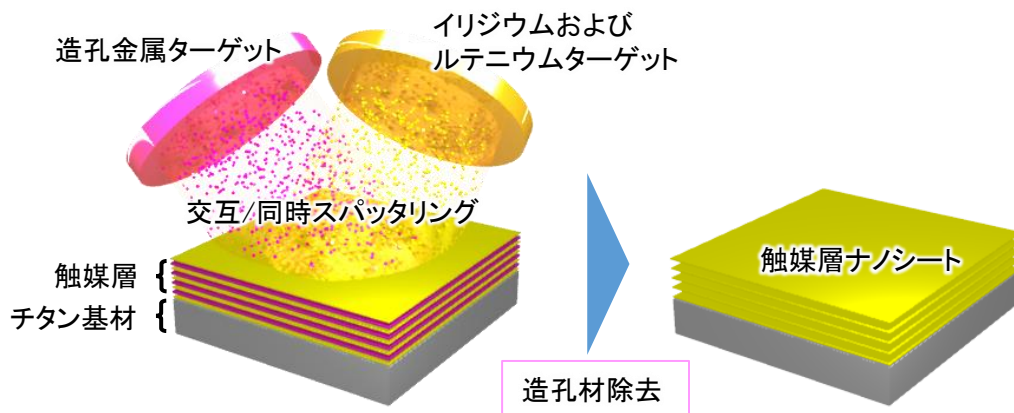
固体水蒸気電解 (SOEC)

実用段階

研究段階



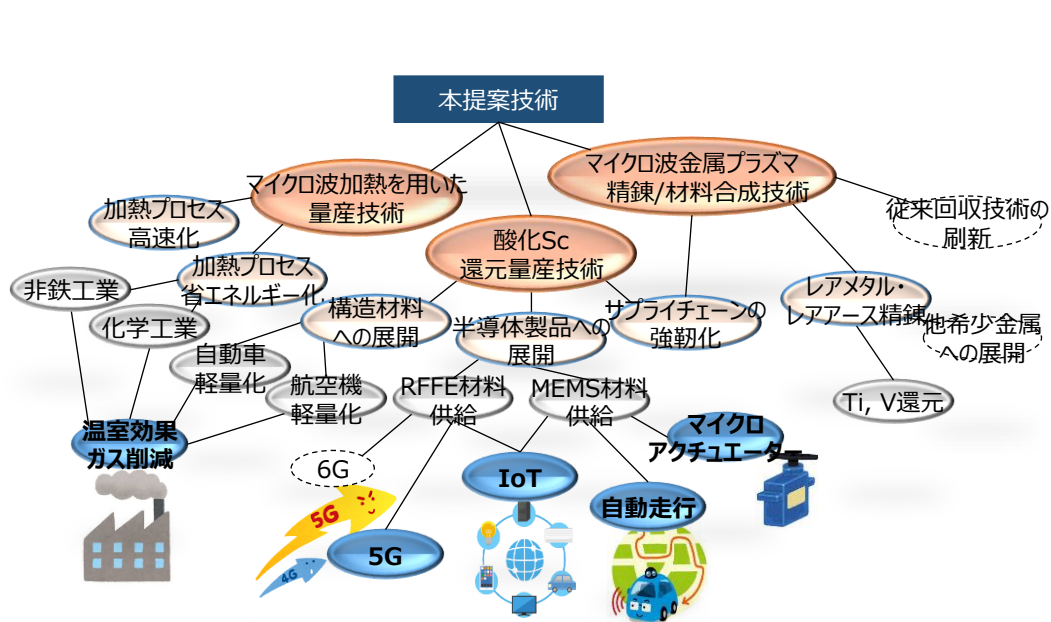
触媒層ナノシートの電子顕微鏡像※



スパッタリングによる触媒層とギャップ層の交互積層のイメージ※

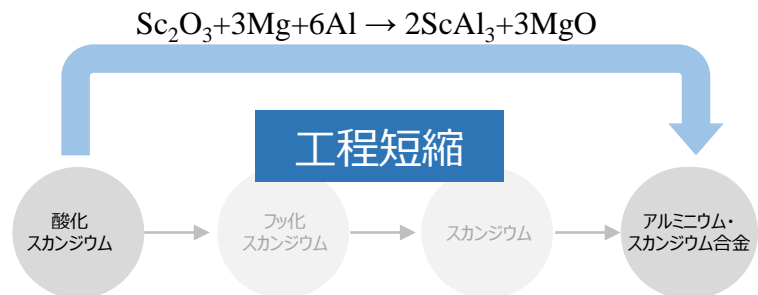
※出所: (株)東芝研究開発センターご提供資料

アルミニウムスカンジウム (Al-Sc) ターゲットはMEMS※に使われ、5G向けのBAWフィルター、自動運転支援センサーとして3D-ToF, LiDAR等の近年飛躍的な進化を続ける技術・製品に貢献しています。当社ではAl-Scターゲットの製造とともにスカンジウム原料のより安定的な調達のために、酸化スカンジウムの還元技術の開発・量産化に取り組んでいます。

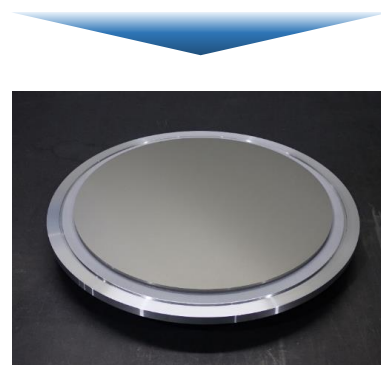


本技術を生かした将来期待される用途への広がり

※MEMS: Micro Electro Mechanical Systems (微小電気機械システム)の略で、微小な立体構造(3次元構造)を持ち、様々な入力・出力信号を扱うシステムの総称



マイクロ波と金属プラズマにより、従来のフッ酸による還元比べ環境負荷が少なく、簡易的にAl-Sc原料を製造可能

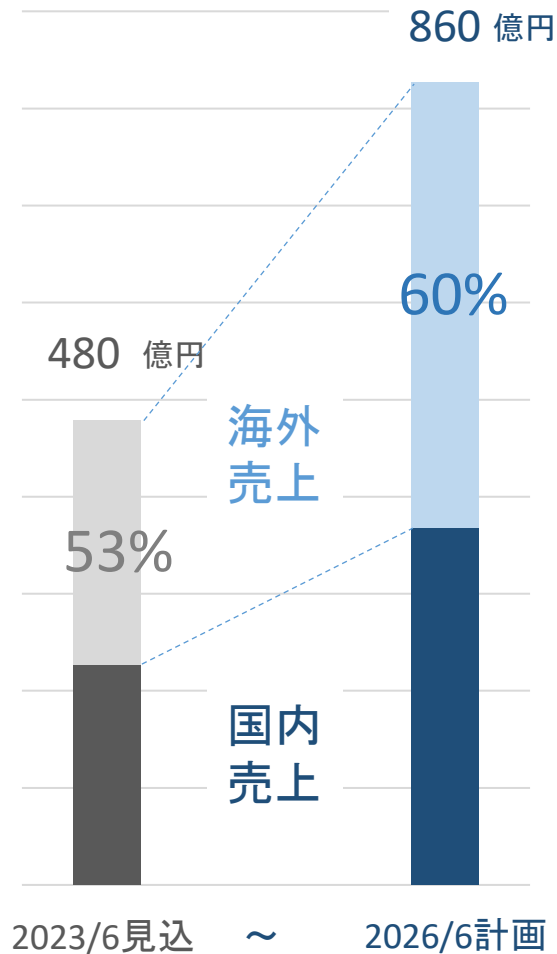


Al-Scターゲット

出所: NEDOマテリアル先導研究/マテリアル・バイオ革新技術先導研究プログラム
酸化スカンジウム精錬技術の高度化に向けた装置開発と応用

海外売上比率

デジタル社会とグリーン社会を牽引する国内外のリーディングカンパニーとの取引を拡大



エリア	2023/6実績	2026/6計画
北米	18	20
欧州	18	20
アジア他	17	20
日本国内	47	40

ものづくり成長投資

向こう3年間で80億円を計画
デジタル、グリーン事業に関する新素材・製品開発に注力

		2023/6		2024/6		2025/6		2026/6	3カ年累計
		前中計	実績	前中計	中計	前中計	中計	中計	(億円)
新素材・新製品	デジタル	9	7	4	10	3	5	7	59
	グリーン	17	21	17	24	17	8	5	
効率化/高度化		12	5	8	6	4	3	1	10
ものづくり基盤		10	9	18	7※	1	2	2	11
		経営統合システム							
計		49	42	48	47	24	18	15	80
						前中計3カ年累計		(120)	

※前中計にて2024/6期に研究開発センター向けに15億円の投資を計画しておりましたが、2027/6期以降に延期。

持続的成長の基盤

社会に貢献し、事業の持続的成長を支える経営基盤づくりに注力

グリーン
電力化

CO₂排出量の50%削減

基盤
構築

サステナビリティの推進、人財開発

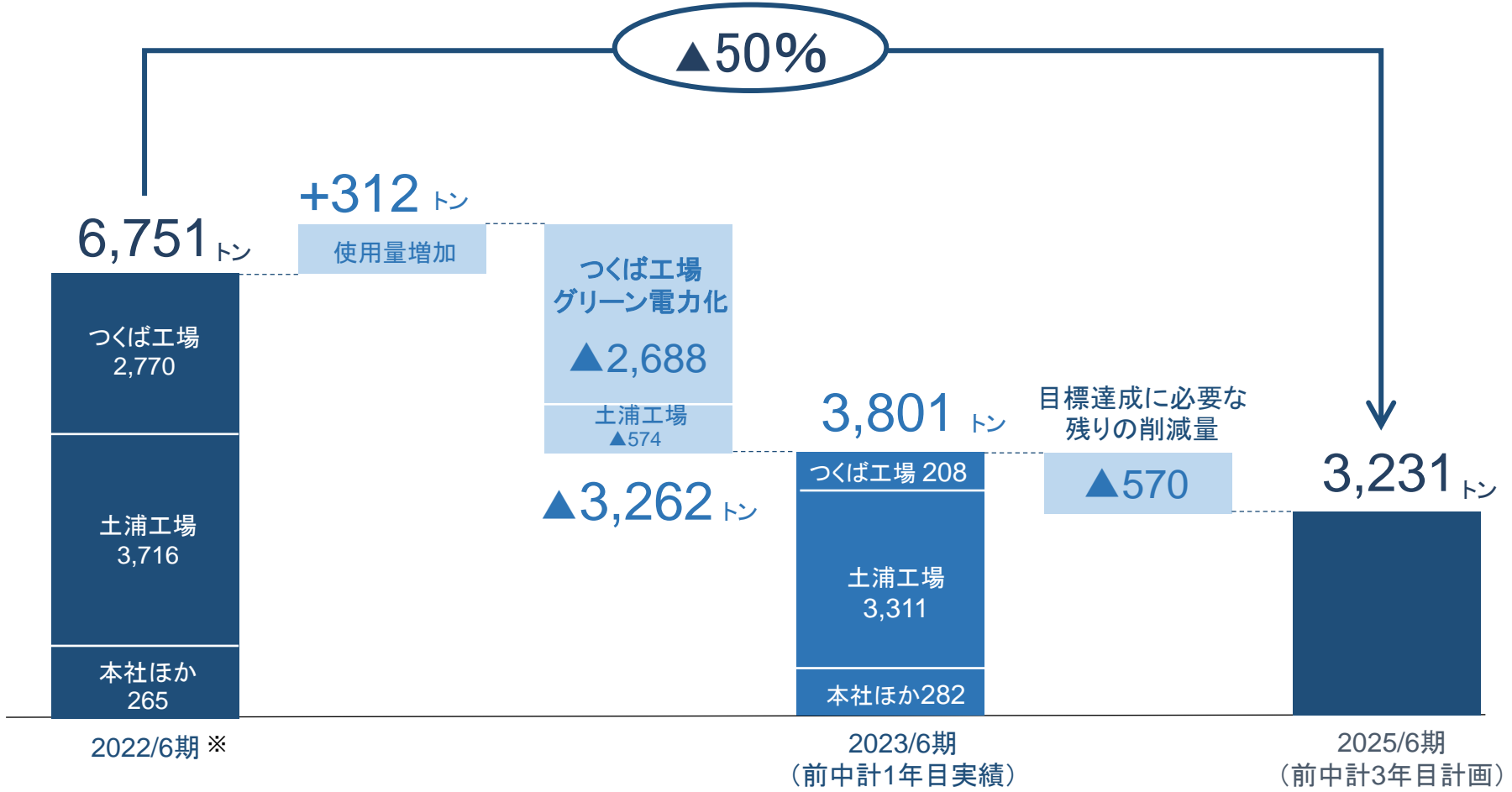
水素

工程利用の水素を自前化

CO₂ 排出量削減

指標及び目標

カーボンフリー社会に向けて省エネ法を遵守し、エネルギー利用の効率化を図る
グリーン電力化により、3年間で現状比 50% の排出量削減を目指す

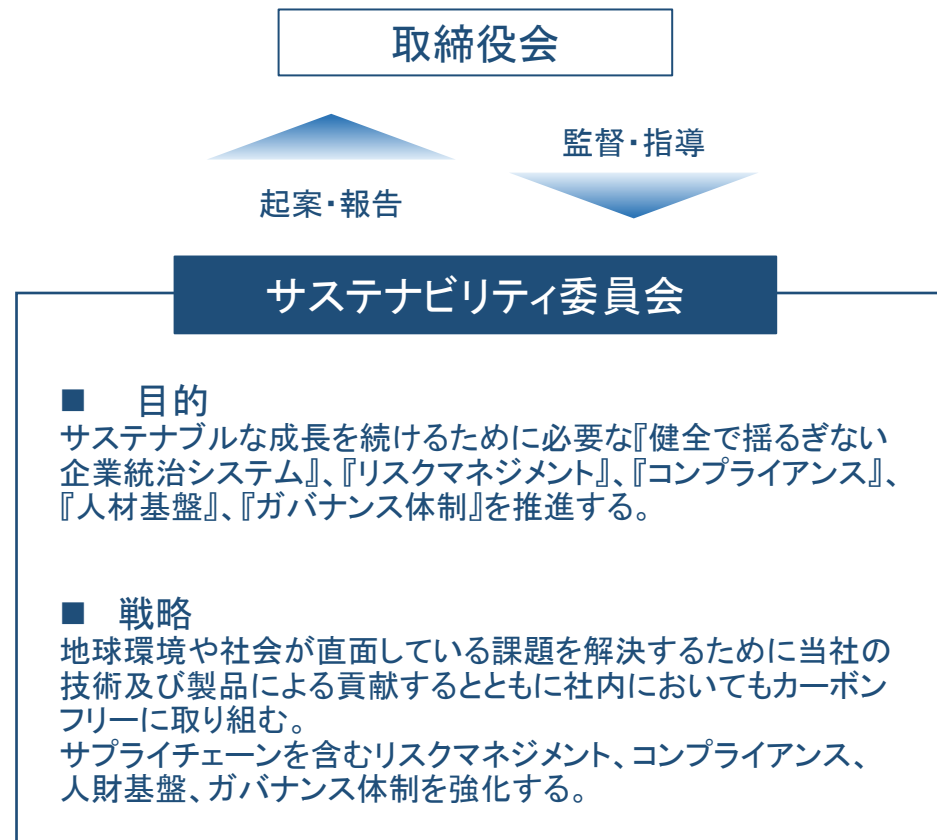


※ 一般財団法人 省エネルギーセンターによるCO₂調査データをもとに当社で作成



サステナビリティの推進と人材基盤の強化

サステナビリティの推進



サステナビリティに関する考え方は以下の当社HPをご参照
<https://www.furuyametals.co.jp/sustainability/idea.html>

人材基盤の強化

目指す姿

“先見力と創造力”のある人材

ダイバシティ&インクルージョンを基本方針とし、一人一人の個性を生かし互いに尊重し成長を目指す



採用

- ・新卒・中途における女性採用の拡大
- ・女性管理職比率の向上
- ・リファラル、カムバック採用の推進

人材開発

環境整備

- ・育児休暇、介護休暇、有給休暇取得の促進
- ・エンゲージメントサーベイの導入

研修プログラム

- ・階層別研修、エルダー制、メンター制、語学研修、e-ラーニングなど多様なプログラムを整備

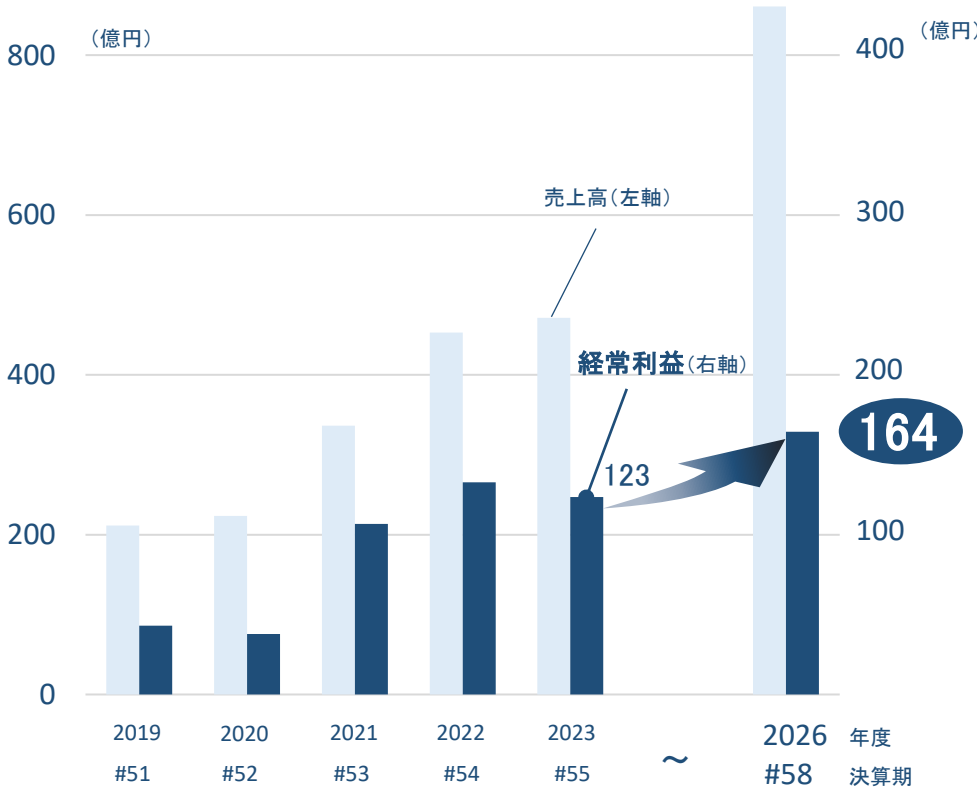
財務指標

経常利益 **164** 億円

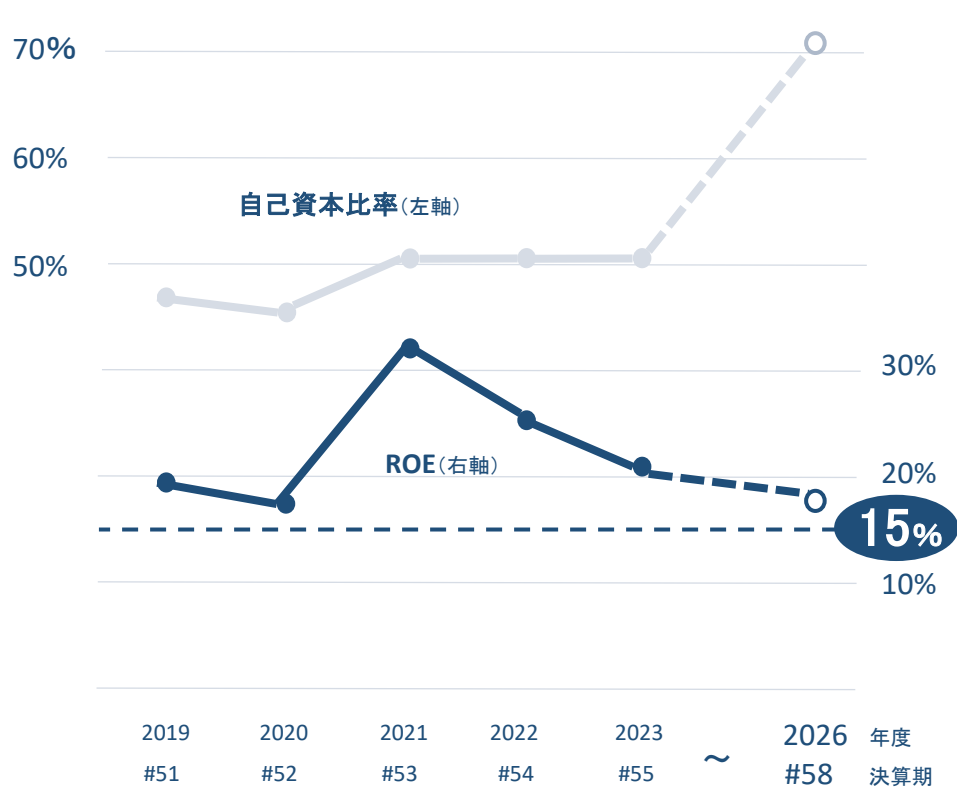
ROE **15** %超

配当性向 **安定二桁** %

3年後経常利益164億円を目指します



創出付加価値からの安定配当を目指します



主要数値

(億円)

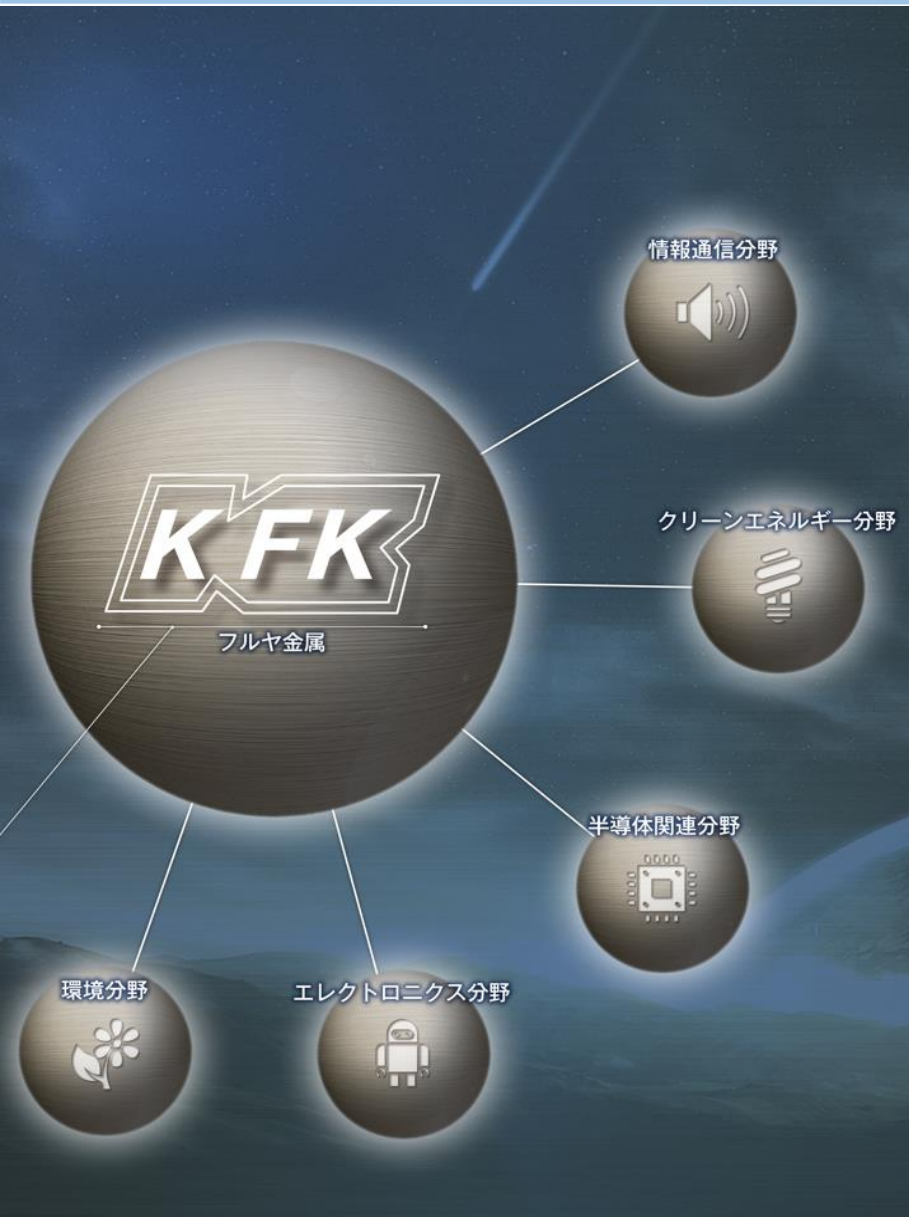
	2023/6実績	2024/6計画	2025/6計画	2026/6計画
売上高	481	536	739	860
経常利益	123	109	160	164
当期純益	94	76	112	115
営業CF	▲4	+21	+125	+120
総資産	875	986	979	974
純資産	443	502	597	694



前提条件：連結ベース 為替1US\$=130円 2024/6期 Ir 上期4,400下期4,600 US\$ / toz Ru 400 US\$ / toz, 2025/6期 Ir 5,000 US\$ / toz Ru 400 US\$ / toz, 2026/6期 Ir 5,000 US\$ / toz Ru 400 US\$ / toz

Copyright: 2023 Furuya Metal Co.,Ltd. All rights reserved

注記事項



注記事項

本資料に記載されている、将来の業績に関する計画、見通し、戦略などは、当社が現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、さまざまなリスクや不確定な要素などの要因により、異なる可能性があります。

IRに関するお問い合わせ

株式会社フルヤ金属

管理本部 総務・CSR部

TEL : +81-3-5977-3377

E-mail : ir@furuyametals.co.jp

Webサイト : <https://www.furuyametals.co.jp/>